

「健康づくり」、「防災」、「地域づくり」

『江津コミフェスに参加して』

江津市 郷田地域コミュニティ交流センター

1 郷田コミュニティ協議会の概要

郷田コミュニティ協議会は中国太郎の異名を持つ中国地方一の大河「江の川」の河口に位置する街で、それぞれ歴史の異なる活動地域が3つある。

【高浜地区】江津市の中心市街地として総合市民センターを中心に保育園、中学校、工業高校、警察署、総合病院、高齢者福祉施設、市営住宅などシビックセンターゾーンとして都市機能の充実を図っている。

現在、新庁舎の建設も始まっている。

【本町地区】石州赤瓦を使った「天領江津本町薨街道」をはじめとする歴史的町並みが残された、古くから北前船の寄港地や天領米の積出港として栄えた町で、多くの歴史的建造物が物語る、静かなたたずまいの残されている町である。

東宮殿下（後の大正天皇）が山陰路御行く啓の際、お泊りになり、当時の郷田小学校がご便殿に供せられた。

【金田地区】江の川の左岸に位置し、河口の上流にあります、ほとんどが山林で、江の川上流域を田ノ村、下流域を千金と言っていたが合併し金田村となり、後に江津町と合併した。

2 事業の趣旨

地域住民の防災意識は全般に低いですが、前回の防災講演会では女性の参加が比較的多く地区での防災に関する意見が多く見られた。

そこで、江津市が開催する「江津コミフェス」に参加し、各地域の状況、コミュニ

ティ活動に活かせる情報を得ることを目的としてこの事業を行った。



活動報告会の様子

3 具体的な取組内容

女性が活動する団体に参加要請し、「防災炊き出し」訓練を行い。又、コミュニティ協議会運営委員は、各地区の活動報告会及び「HUG避難所運営ゲーム」に参加した。

【活動報告会】

各地域の活動を聞いて、若い人の発表が多くあり、当協議会として今後の人材育成について目標となった。

桜江町川戸地区では、2018年の広島地方の豪雨より江の川が氾濫して災害発生、地域全体が防災をきっかけにした地域づくりに目覚めたとの報告があった。

【HUG避難所運営ゲーム】

郷田コミュニティ協議会運営委員が参加、出席した委員のほとんどが避難所運営に携わった事がなく戸惑いを見せていたが、時間と共に状況が把握でき、各委員の考えや意見が出てきた。協議会に携わる人材として、リーダー育成の一助となった。

4 評価と成果

(1) 防災炊き出し訓練

防災炊き出し訓練は、高浜ひまわり会(婦人会)に実施していただき、避難所における食事の配分等に難しさを感じながら終了となった。

(2) HUG避難所運営ゲーム

参加した役員ほとんどが避難所運営に携わった事がなく、HUG避難所運営のゲームとは言え、読み上げる避難者情報や、物資の状況、外国人の避難者の扱いなどの情報が多くあることを知ることができた。

5 今後の課題と見通し

郷田コミュニティ協議会では自主防災組織立上げを意識して活動をしてきたが、今後は、地域の実情をよく知り防災に限らず地域住民の「安心・安全」、地域の「絆」を基に、若者や、小学生・中学生が行動を起しやすく、主体性を持って活動できる場をつくと共に、高齢社会にも適した取組の見直しも考えていきたい。



避難所 食事提供



HUG避難所運営ゲーム



カードの情報が多く配置に戸惑う
防災炊き出し

(文責：センター長 村川立美)